

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成30年8月30日(2018.8.30)

【公開番号】特開2018-19084(P2018-19084A)

【公開日】平成30年2月1日(2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2018-004

【出願番号】特願2017-168422(P2017-168422)

【国際特許分類】

H 0 1 L 29/786 (2006.01)

H 0 1 L 21/336 (2006.01)

H 0 1 L 21/8234 (2006.01)

H 0 1 L 27/088 (2006.01)

H 0 1 L 21/20 (2006.01)

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 1 L 27/32 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 29/78 6 1 8 C

H 0 1 L 29/78 6 2 7 G

H 0 1 L 27/088 B

H 0 1 L 27/088 3 3 1 E

H 0 1 L 21/20

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 9 F 9/30 3 6 5

H 0 5 B 33/14 A

H 0 1 L 27/32

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月17日(2018.7.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

スイッチング用トランジスタと、

電流制御用トランジスタと、

発光素子と、を有し、

前記スイッチング用トランジスタのソース又はドレインの一方は、第 1 の配線と電氣的に接続され、

前記スイッチング用トランジスタのゲートは、第 2 の配線と電氣的に接続され、

前記電流制御用トランジスタのソース又はドレインの一方は、前記発光素子の陽極と電氣的に接続され、

前記電流制御用トランジスタのソース又はドレインの他方は、第 3 の配線と電氣的に接続され、

前記電流制御用トランジスタのチャネル形成領域は、蛇行形状を有し、

前記電流制御用トランジスタは、飽和領域で動作することを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

スイッチング用トランジスタと、
電流制御用トランジスタと、
発光素子と、を有し、
前記スイッチング用トランジスタのソース又はドレインの一方は、第1の配線と電氣的に接続され、
前記スイッチング用トランジスタのゲートは、第2の配線と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのソース又はドレインの一方は、前記発光素子の陽極と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのソース又はドレインの他方は、第3の配線と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのチャネル形成領域のチャネル長は、前記スイッチング用トランジスタのチャネル形成領域のチャネル長より長く、
前記電流制御用トランジスタのチャネル形成領域は、前記チャネル長がチャネル幅より長くなるような形状を有し、
前記電流制御用トランジスタは、飽和領域で動作することを特徴とする発光装置。

【請求項3】

スイッチング用トランジスタと、
電流制御用トランジスタと、
発光素子と、を有し、
前記スイッチング用トランジスタのソース又はドレインの一方は、第1の配線と電氣的に接続され、
前記スイッチング用トランジスタのゲートは、第2の配線と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのソース又はドレインの一方は、前記発光素子の陰極と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのソース又はドレインの他方は、第3の配線と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのチャネル形成領域は、蛇行形状を有し、
前記電流制御用トランジスタは、飽和領域で動作することを特徴とする発光装置。

【請求項4】

スイッチング用トランジスタと、
電流制御用トランジスタと、
発光素子と、を有し、
前記スイッチング用トランジスタのソース又はドレインの一方は、第1の配線と電氣的に接続され、
前記スイッチング用トランジスタのゲートは、第2の配線と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのソース又はドレインの一方は、前記発光素子の陰極と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのソース又はドレインの他方は、第3の配線と電氣的に接続され、
前記電流制御用トランジスタのチャネル形成領域のチャネル長は、前記スイッチング用トランジスタのチャネル形成領域のチャネル長より長く、
前記電流制御用トランジスタのチャネル形成領域は、前記チャネル長がチャネル幅より長くなるような形状を有し、
前記電流制御用トランジスタは、飽和領域で動作することを特徴とする発光装置。

【請求項5】

電流制御用トランジスタと、
発光素子と、を有し、
前記電流制御用トランジスタは、前記発光素子に電流を供給する機能を有し、
前記電流制御用トランジスタのチャネル形成領域は、蛇行形状を有し、
前記電流制御用トランジスタは、飽和領域で動作することを特徴とする発光装置。

【請求項 6】

電流制御用トランジスタと、

発光素子と、を有し、

前記電流制御用トランジスタは、前記発光素子に電流を供給する機能を有し、

前記電流制御用トランジスタのチャンネル形成領域は、チャンネル長がチャンネル幅より長くなるような形状を有し、

前記電流制御用トランジスタは、飽和領域で動作することを特徴とする発光装置。

【請求項 7】

電流制御用トランジスタと、

発光素子と、を有し、

前記電流制御用トランジスタは、前記発光素子に電流を供給する機能を有し、

前記電流制御用トランジスタのチャンネル形成領域は、蛇行形状を有することを特徴とする発光装置。

【請求項 8】

電流制御用トランジスタと、

発光素子と、を有し、

前記電流制御用トランジスタは、前記発光素子に電流を供給する機能を有し、

前記電流制御用トランジスタのチャンネル形成領域は、チャンネル長がチャンネル幅より長くなるような形状を有することを特徴とする発光装置。